

# 横浜国立大学 陸上競技部報 8月号



2024 年度幹部作成  
文責 吉澤

## Topics!

### 釣本 U20 日本選手権 金&銀 のダブル受賞



#### 三段跳

12m49(+0.1) **優勝!!**

#### 走幅跳

6m06(+0.3) **2位!! PB!!**

**国大歴代記録 5位更新!!**

(画像：日本陸上競技連盟公式サイトより引用)

6月27日から30日にかけて新潟県デンカビッグスワンスタジアムにて開催された、第40回U20日本陸上競技選手権大会に、釣本陽香(1)が出場しました。2種目に出場した釣本は、三段跳で優勝、走幅跳で自身のPBを更新し2位入賞と素晴らしい成績を収めてくれました。大会2日目に出場した三段跳では、3本目の跳躍で12m49を記録しトップに躍り出るとその後も好記録を連発。6回全ての試技を12m台でそろえる抜群の安定感で見事優勝を果たしました。勢いそのままに臨んだ最終日の走幅跳では、1回目の試技でいきなり当時のPBを1cm更新する6m06を記録。その後もPBまでわずか2cmに迫る跳躍を二度も披露する等、まさに絶好調。さらなる好記録の可能性を感じさせる跳躍で見事に2位入賞をつかみ取りました。また、同選手は7月20日に2024オールスターナイト陸上(第64回実業団・学生対抗陸上競技大会)、翌日21日に第19回トワイライトゲームスでも素晴らしいパフォーマンスを発揮しており、着々と大舞台での経験を重ねています。世代を代表するジャンパーが見せる、今後の活躍から目が離せません。



## 上井 関東インカレ2部B標準突破！



### 男子 200m 21 秒 8 9 (-0.1)

7月13、14日と2日間に渡って開催された第79回静岡県陸上競技選手権大会にて、男子200mに出場した上井雄世(2)が、関東学生陸上競技選手権大会参加標準記録を突破しました。予選第3組に出場した上井は他選手の追従を許さず1着でフィニッシュ。最後には流す余裕すら見せる走りでご念願の切符を手に入れました。なお、決勝では5着入賞を果たしています。同選手は、今年度の関東インカレではリレー種目の出場にとどまり、悔しさをにじませていました。来季こそは個人種目での出場をと誓ったその宣言通り、見事な有言実行です。

## 宮田 全日本インカレB標準突破！

### 女子走幅跳 5m85(+0.5)

7月20、21日に行われた第4回日本大学競技会にて、宮田稜子(2)が、日本学生陸上競技対校選手権大会のB標準記録を突破しました。この記録は自身の大学ベスト記録となります。宮田は今シーズン、序盤から怪我に苦しみ、納得のいくような跳躍がなかなかできずにもどかしい思いをしていました。復帰に向け身体の使い方をもう一度見直し、少しずつ丁寧に感覚をすり合わせてきた成果がようやく実った待望の瞬間に、部員一同喜びを隠しきれませんでした。なお、日本学生陸上競技対校選手権大会は9月19日から22日の4日間にかけて開催されます。



## 部員から

今回は副将の吉澤が、主に7月分の活動の様子をご報告させていただきます。

気温も上がり過酷な環境ではありますが、部員一同さらなるレベルアップに向け、汗水流しながら日々練習に励んでおります。練習内容はより実戦向けのものが増えてきており、強度も上がってまいりました。来月8月には夏合宿もあり、来る関東甲信越大学体育大会（同月21, 22日）を見据え、各々の気概を肌で感じられるような雰囲気の下、練習を積み上げている最中です。

7月の試合の特徴としては、「県選手権」が挙げられるのではないのでしょうか。7月は神奈川県のみならず、多くの都道府県で県選手権が開催されました。我々国大の部員も多くの選手が各地域へと帰省し、徐々に地元での勝負レースを楽しんでいる様子でした。また、U20 日本選手権をはじめ、グランプリシリーズのオールスターナイト陸上、トワイライト・ゲームスなど、関東・全国クラスの大会や、学生の枠を超えた規模の大会に出場する選手もおり、その活躍ぶりに部の士気が上がっているのを実感しています。部全体としても PB や SB を更新する選手も増えており、徐々に動きがキレを増し状態の仕上がってきている選手が多い印象です。

また、7月20日には7回目のグループミーティングを行い、「合宿や全カレチャレンジ、その他大会に向けた練習の意識」、「関甲信の対校戦目標（総合優勝 男子：優勝 女子：3位以内）の達成のため、自分に求められることとそれに向けた行動」の2つのテーマを軸に話し合いました。各々の考えていることや想いを互いに共有する機会として、私自身大変有意義な時間であったと感じております。グループで話し合った内容は後日幹部が資料としてまとめ、全体に共有しました。部のさらなる一体感や目的意識の共有に向け、今後も定期的にこうした場を設けていく予定です。

平素より大変お世話になっております。皆様のお力添えのおかげで、これから待ち受ける2つの対校戦に向け非常に重要である、7月の一月を最高の形で終えることができました。夏は始まったばかりです。皆様に良いご報告ができるよう、部員一同精進してまいりますので、今後ともご支援ご協力いただけますと幸いです。

